



TOTTORI

1 主催

一般財団法人鳥取陸上競技協会

2 共催

公益財団法人鳥取県体育協会 日本海テレビジョン放送株式会社 布勢総合運動公園

3 後援

(公財)日本陸上競技連盟 日本パラ陸上競技連盟 鳥取県 鳥取市 鳥取県教育委員会
鳥取市教育委員会 鳥取県高等学校体育連盟 鳥取県中学校体育連盟 鳥取県小学校体育連盟
新日本海新聞社 読売新聞鳥取支局 朝日新聞鳥取総局 毎日新聞鳥取支局
産経新聞鳥取支局 山陰中央新報社

4 特別協賛

住友電気工業株式会社

5 協賛

アシックスジャパン株式会社

6 運営協力

株式会社ニスポーツ

7 期日

平成30年6月3日(日) 9:00 競技開始予定

8 会場

コカ・コーラ ボトラーズジャパンスポーツパーク陸上競技場 (布勢総合運動公園陸上競技場)
〒680-0944 鳥取県鳥取市布勢146-1 電話 0857(28)7221

9 種目

		小学校	中学校	一般・高校	グランプリ	パラ
男子	個人種目	・100m	・100m	・100m ・110mH(1.067m)	・100m ・110mH(1.067m)	ブラインド 100m
	リレー種目	・4×100mR	・4×100mR	・4×100mR		実施しない
女子	個人種目	・100m	・100m	・100m ・100mH(0.838m)	・100m ・100mH(0.838m)	ブラインド・切断 100m
	リレー種目	・4×100mR	・4×100mR	・4×100mR		実施しない

10 参加資格及び参加制限

- (1) 2018年度日本陸上競技連盟登録競技者とする。(小学生は除く)
- (2) GP種目については、日本陸連HP記載の「2018日本グランプリシリーズ要項」に基づく。
- (3) 1人2種目以内とする。(ただしリレー種目を除く)
- (4) GP以外の100m参加は1チーム男子5名以内、女子5名以内とする。
- (5) リレー種目は同一所属で男子2チーム以内、女子2チーム以内とする。
- (6) 日程の関係上、別表の通り参加制限を設ける。(先着順とする。)
- (7) 選手、申込責任者には申込書をもとに日本海テレビより大会参加についての取材が行われることがある。
- (8) 申込終了後「エントリー一覧表」を鳥取陸協HPに掲載する。それを各チーム確認して、何かあれば大会責任者へ連絡すること。

11 競技規則

2018年度日本陸上競技連盟競技規則による。

12 参加料

- (1) 個人種目
小学生1,000円(Tシャツ付) / 中学生1,000円 / 高校生1,500円 / 一般2,000円 / GP2,000円
- (2) リレー種目
1チーム1種目2,000円
- (3) 大会主催者の都合による中止の場合を除き、理由を問わず返金はしない。

13 申込方法

- (1) 様式 鳥取陸協HP「布勢スプリント申込様式」に限る。GP種目とそれ以外では申込様式が違う。
- (2) 送付方法 電子メールに限る。
- (3) 申込先 鳥取工業高等学校 富田 学 電子メール fuse-sp@hal.ne.jp
- (4) 申込締切 平成30年5月7日(月) 17:00

- (5) 参加料 申込締切後、エントリー一覧表を鳥取陸協HPに掲載する。
それを確認して5月18日(金)までに下記の郵便振込口座へ振り込むこと。
振込用紙通信欄に大会名、チーム名、申込責任者の氏名を明記すること。
振込が確認できた時点でエントリーの完了とする。
郵便口座番号 01320-1-106485
口座名称 (財)鳥取陸上競技協会

14 大会責任者

富田 学

15 メディアについて

大会取材に関しては事前に申込みが必要。取材要項を熟読のうえ、取材申請書を担当者に提出すること。

16 その他

(1) 第2レースについて(個人種目)

- ア 第1レース上位16名は第2レースに出場できる。(ただし小学生は上位8名とする。)
- イ 第2レースを棄権する場合はすみやかに大会本部へその旨を届けること。その際、番組編成上、次点の者を繰り上げる場合がある。
- ウ GP種目はA決勝(予選記録1位~8位)、B決勝(予選記録9位~16位)を行う。

(2) リレー種目において、同一所属で2チーム登録する場合はそれぞれが別チームとみなす。(選手の入替はできない)

(3) 個人情報

- ア 主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づいて取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成会議及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- イ 本大会はテレビ放送及びインターネット上で動画配信を行うことがある。
- ウ 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- エ 出場選手の名前および所属をプログラム及び新聞に掲載する。

(4) ドーピングコントロールについて(GP種目参加者のみ対象)

●ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。

尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。

尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

●TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は"治療使用特例(TUE)"の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

●18歳未満競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

世界アンチ・ドーピング規程、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程により、18歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

- ① 本大会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は<http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf>からダウンロード出来る。
- ② 18歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(陸連医事代表)に提出すること。提出は1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

参加制限 別表

種目	小学	中学	一般	グランプリ
100m	男女で10組	男女で10組	男女で15組	男子4組・女子4組
ハードル	実施しない	実施しない	男子5組・女子5組	男子4組・女子4組